

# 款 3 民生費

## 項 1 社会福祉費

### 目 1 社会福祉総務費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
3,948,360,000円	3,498,306,329円	9,975,000円	440,078,671円

少子・高齢化が急速に進行する中で本市の社会生活環境は大きく変動しており、それに伴って福祉ニーズは年々多様化・拡大しています。こうした背景のもと、地域福祉活動の充実、民間社会福祉施設の整備、関係諸団体の育成、福祉医療費や各種手当の支給など、市民生活に密接に関わる福祉施策の推進に努めました。

なお、翌年度繰越額は、保健福祉総合システムに係るものです。

〔委員報酬〕	149,400円		
・同和対策委員会委員 24人			
〔一般職給〕 79人	728,262,442円	〔国庫支出金 163,499,519円 県支出金 636,000円 その他特財 71,079,728円〕	
〔嘱託職給〕 10人	34,563,333円		〔国庫支出金 660,000円 県支出金 2,710,360円〕
〔社会福祉一般事業費〕	23,794,482円		
・行旅病人同死亡人取扱扶助費 2件	239,521円	(県支出金	239,521円)
・ふれあい・いきいきサロン活動事業費	96,314円		
・障害者サービス調整事業費	133,550円		
・一般経費	23,325,097円	〔県支出金 119,000円 その他特財 100,950円〕	
〔超低床ノステップ導入事業費補助金〕	10,632,000円		
超低床ノステップの購入費補助 2台			
〔医療費助成経費〕	868,287,895円		
医療費の自己負担分の助成については、	本年度も各医療費助成制度に基づいて次のとおり実施しました。		

区 分	県(補助)対象額 (件数)	うち特定財源		市制度対象額 (件数)
老人医療費 (68・69歳)	56,307,454円 (27,693)	県支出金	31,909,000	
乳幼児医療費	184,148,785 (74,692)	県支出金	91,722,992	
心身障害者医療費	361,500,967 (61,223)	県支出金	180,946,483	160,520,762円 (33,817)
母子医療費	74,721,927 (26,596)	県支出金	32,237,663	
文 書 料	28,466,000 (142,330)	県支出金	14,723,000	2,622,000 (13,110)

〔社会福祉振興費〕	66,000,060円
・民生委員児童委員協議会連合会補助金	28,106,500円
民生委員・児童委員 489人 (主任児童委員を含む)	
・保護司会補助金 保護司 110人	1,980,000円
・更生保護婦人会補助金	135,000円
・母子福祉協力員協議会補助金	230,000円
・四日市母子寡婦福祉会補助金	405,000円
・三泗母親大会補助金	32,000円

・民生対策費補助金	33,311,560円		
・遺族対策費補助金	1,800,000円		
[同和対策経費]	17,120,145円		
・同和対策費補助金等	10,035,766円	( 県支出金	22,000円 )
・同和地区公会所維持管理委託事業	3,170,220円		
・一般経費	3,914,159円	( 県支出金	66,000円 )
[女性相談等関係経費]	324,764円	( 国庫支出金	24,000円 )
相談件数 1,024件			
[社会福祉協議会経費]	149,900,488円		
・運営費補助金	147,995,488円		
社会福祉協議会運営費	95,026,753円	西南総合福祉センター運営費	21,714,187円
市民啓発事業費	2,800,000円	ふれあいのまちづくり事業費	13,281,952円
福祉ボランティアのまちづくり事業費	3,450,000円	福祉職能訓練所運営費	2,780,055円
視覚障害者福祉センター運営費	3,693,541円	振興基金補填事業費	5,249,000円
・成年後見・権利擁護事業費補助金	154,000円		
・社会福祉事業振興基金交付金	1,751,000円	( その他特財	1,751,000円 )
[シルバー人材センター運営費補助金]	20,500,000円		
[精神障害者福祉事業費]	20,612,840円		
・精神障害者小規模授産施設運営費補助金	16,105,000円		

施設名	実施額	備考
わかば共同作業所	5,887,000	
みのり工房	4,360,000	
コミュニティハウスオレゴン	2,250,000	
フェア・ワークス下野	3,608,000	

・精神障害者小規模授産施設等通所費扶助費			
個人 延べ83件	1,728,760円		
・精神障害者訪問介護試行的事業費	2,729,080円	( 県支出金	2,729,000円 )
・各種障害者大会経費補助金	50,000円		
[特別障害者手当等支給経費]	283,265,220円		
・特別障害者手当等運営対策経費	231,880円		
・特別障害者手当等扶助費	122,575,340円	( 国庫支出金	92,500,875円 )
受給者 495人			
・重症心身障害者手当	156,068,000円		
受給者 3,296人			
・在日外国人福祉給付金	4,390,000円		
受給者 77人			
[民間社会福祉施設等整備助成事業費]	183,202,058円		
・特別養護老人ホーム建設費補助金	43,285,498円		

施設名	実施額	備考
小山田特別養護老人ホーム(増築)	2,694,700	債務負担行為限度額のうち本年度分
特別養護老人ホーム萌乃里	3,224,894	〃
第二小山田特別養護老人ホーム(増築)	1,684,200	〃
特別養護老人ホーム陽光苑	2,259,600	〃
特別養護老人ホーム陽光苑(増築)	1,549,947	〃
小山田特別養護老人ホーム(特殊型)	3,445,000	〃
特別養護老人ホーム英水苑	4,145,157	〃

特別養護老人ホームよっかいち諧朋苑	4,814,000	〃
特別養護老人ホーム萌乃里（増築）	3,204,000	〃
小山田特別養護老人ホーム（大規模修繕）	971,000	〃
特別養護老人ホーム南部陽光苑	5,293,000	〃
かんざき特別養護老人ホーム	10,000,000	

・軽費老人ホーム建設費補助金 11,382,133円

施設名	実施額	備考
第二小山田軽費老人ホーム（A型）	1,832,450	債務負担行為限度額のうち本年度分
小山田ケアハウス	1,950,631	〃
ケアハウス常磐	3,564,052	〃
グリーンライフ英水苑	4,035,000	〃

・老人デイサービス施設建設費補助金 43,847,000円

施設名	実施額	備考
小山田デイサービスセンター	720,000	債務負担行為限度額のうち本年度分
常磐デイサービスセンター	916,000	〃
英水苑デイサービスセンター	941,000	〃
四郷デイサービスセンター	1,091,000	〃
YMCAデイサービスセンター	1,276,000	〃
よっかいち諧朋苑デイサービスセンター	994,000	〃
みなとデイサービスセンター	1,148,000	〃
富田浜デイサービスセンター	969,000	〃
南部陽光苑デイサービスセンター	961,000	〃
ハピネスやさとデイサービスセンター	941,000	〃
川島デイサービスセンター	951,000	〃
うねめの里デイサービスセンター	972,000	〃
くぬぎの木デイサービスセンター	979,000	〃
日永英水苑デイサービスセンター	988,000	〃
かんざき在宅介護サービスセンター	10,000,000	
富州原萌乃里在宅介護サービスセンター	10,000,000	
聖十字保々在宅介護サービスセンター	10,000,000	

・在宅介護支援センター建設費補助金 13,717,000円

施設名	実施額	備考
かんざき在宅介護サービスセンター	3,720,000	
富州原萌乃里在宅介護サービスセンター	4,984,000	
聖十字保々在宅介護サービスセンター	5,013,000	

・地域交流ホーム建設費補助金 1,140,050円

施設名	実施額	備考
小山田温泉地域交流ホーム	1,140,050	債務負担行為限度額のうち本年度分

・身体障害者療護施設建設費補助金 2,452,500円

施設名	実施額	備考
エビノ園（増築）	2,452,500	債務負担行為限度額のうち本年度分

・知的障害者更生施設建設費補助金 8,387,394円

施設名	実施額	備考
聖母の家	1,366,600	債務負担行為限度額のうち本年度分
清和苑	2,750,000	〃
聖母の家（増築）	907,900	〃
垂坂山ブルーミングハウス	2,386,947	〃
サクラノ園	975,947	〃

・知的障害者通所授産施設建設費補助金 11,805,550円

施設名	実施額	備考
清和ワークキャンパス	821,050	債務負担行為限度額のうち本年度分
かすみヶ浦ブルーミングハウス	984,500	〃
わかたけ萩の里	10,000,000	

・知的障害者デイサービス建設費補助金 983,400円

施設名	実施額	備考
清和デイサービスセンター	983,400	債務負担行為限度額のうち本年度分

・老人保健施設建設費補助金 8,106,848円

施設名	実施額	備考
小山田老人保健施設	3,831,850	債務負担行為限度額のうち本年度分
老人保健施設みえ川村老健	1,919,736	〃
老人保健施設ちゅうぶ	1,315,789	〃

富田浜老人保健施設	1,039,473	〃
-----------	-----------	---

・老人福祉施設建設費補助金 38,094,685円

施設名	実施額	備考
老人福祉施設ユートピアハウス	38,094,685	債務負担行為限度額のうち本年度分

〔保健福祉総合システム運営費〕 16,409,985円 (国庫支出金 7,797,979円)  
 〔社会福祉事業振興基金積立金〕 5,658,637円  
 ・民間社会福祉事業 5,584,494円 (その他特財 5,584,494円)  
 ・障害児福祉事業 74,143円 (その他特財 74,143円)

社会福祉事業振興基金  
 { 昭和51年3月設置 本年度末現在高 民間社会福祉事業積立金 369,263,356円 }  
 障害児福祉事業積立金 13,699,307円

〔法外扶助費〕 35,086,380円

生活保護世帯に、四日市市単独で実施する法外扶助を下記のとおり行いました。

法外扶助費の状況

区分	件数	実施額	前年度実績額	(%)
夏期見舞金	1,129	14,155,500	12,617,500	112.2
歳末見舞金	1,235	19,574,900	20,735,200	94.4
小・中・高校入学祝金、出産、その他	81	1,355,980	1,114,834	121.6
合計	2,445	35,086,380	34,467,534	101.8

(内訳) 夏期見舞金 生保在宅1～2人世帯 14,500円×800  
 " 3人以上世帯 15,500円×117 計 14,155,500円  
 入院世帯 3,500円×212  
 歳末見舞金 生保在宅1～2人世帯 18,600円×838  
 " 3人以上世帯 20,600円×116 計 19,574,900円  
 入院世帯 6,500円×205  
 施設入所者 3,500円×76  
 入学祝金 小学校 21,000円×15  
 中学校 14,000円×28 計 1,127,000円  
 高校 30,000円×14  
 その他 中学1年生夏服代(原価) 男子 13  
 女子 9 計 164,500円  
 新生児分娩料差額 2件 計 64,480円

〔老人保健医療特別会計繰出金〕 1,033,828,000円

3月補正予算に計上した繰出金 353,218,000円については、例年に比ベインフルエンザが流行しなかったなどの理由により、医療費の伸びが予想を大きく下回ったため、執行を行いませんでした。

〔負担金〕 708,200円

・全国シルバー人材センター協会等

〔成果〕

民間社会福祉施設等整備助成については、高齢者施設では、新たに特別養護老人ホーム建設費補助金として、かんだき特別養護老人ホームに助成するとともに、老人デイサービス施設建設費補助金として、在宅介護サービスセンターのかんだき、富州原萌乃里、聖十字保々に補助金を支出しました。

また、障害者施設では、知的障害者の通所授産施設のわかたけ萩の里に建設費補助金を支出しました。

同和対策としての個人給付的事業において、結婚祝金や出産費補助金など、目的が達成された福祉的な事業については廃止しました。

痴呆性高齢者・知的障害者・精神障害者の在宅生活を支援するために社会福祉協議会が実施している地域福祉権利擁護事業については、相談受付件数は164件、日常的金銭管理サービスの延べ利用件数は363

件（契約者14人）となるなど着実な成果を上げました。また、この事業の利用者の大半が低所得者であることから、市民税が非課税の人には市が1回のサービスにつき500円を助成し、利用者の支援を行いました。

## 目2 身体障害者福祉費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
752,101,000円	721,364,323円		30,736,677円

身体障害者福祉の理念は、国際障害者年のテーマ「完全参加と平等」に集約されるように、身体障害者が社会の一員としてあらゆる活動に参加でき、地域社会の中で自立し、生涯を通じて安定した生活を営むことができるようにすることにあり、この理念の実現に向けて、次のような施策を実施しました。

- 〔身体障害者福祉一般事業〕 24,823,850円
  - ・福祉環境整備事業費 7,041,195円（県支出金 3,110,000円）
    - 点字ブロック補修工事等、バリアフリー設備整備事業等
  - ・ふれあい農園運営事業費 3,526,915円
  - ・福祉の店運営費補助金 4,969,884円
    - 施設入所者等が製作した作品の常設展示即売等を通じて障害者問題の啓発と就労の推進に努めました。
    - 延開店日数 635日、売上点数 11,730点、売上金額 5,756,750円
  - ・障害者福祉推進事業費 5,714,520円
    - 障害者実態調査等
  - ・身体障害者スポーツ振興事業費補助金 120,000円（県支出金 80,000円）
    - 身体障害者スポ・レク大会補助金
  - ・一般経費 3,451,336円（県支出金 837,000円）
- 〔身体障害者在宅援護事業費〕 177,932,588円
  - ・ホームヘルプサービス事業費 33,564,980円
    - 派遣対象者 65人
    - 国庫支出金 18,810,000円
    - 県支出金 9,338,000円
    - その他特財 508,980円
  - ・ガイドヘルパー派遣事業費 5,232,900円（その他特財 15,450円）
    - 派遣対象者 87人、派遣回数 1,953回
  - ・手話通訳者派遣事業費 2,681,456円（県支出金 2,113,640円）
    - 派遣対象者 141人、派遣回数 291回
  - ・在宅重度身体障害者訪問診査費 45,000円（国庫支出金 22,500円）
    - 訪問実績 肢体障害者 2人
  - ・在宅重度身体障害者短期入所事業費 1,839,500円
    - 国庫支出金 1,377,000円
    - 県支出金 459,000円
  - 家族の疾病等の理由により、一時的に家庭での介護が困難な障害者を施設で世話する。
    - 延べ 244日 18人
  - ・ファクス中継サービス事業費補助金 144,510円
    - 聴覚障害者のコミュニケーション手段の確保のため、ろうあ福祉会へ補助 中継者 22人
  - ・福祉電話貸与事業費 503,712円
    - 基本料金を負担 25台分
  - ・緊急通報装置貸与事業 2台 49,140円
  - ・はり・きゅう・マッサージ給付事業費補助金 17,090,000円
    - 視覚障害者の生活安定を目的とし、四日市市視覚障害者協会の協力により実施
    - 1枚あたり 1,000円補助
  - ・在宅重度身体障害者住宅改造費補助金 6,171,000円（県支出金 2,063,000円）
    - 対象 肢体障害 1～3級、最高 900,000円限度、18件
  - ・身体障害者福祉機器購入費補助金 120,970円
    - エアーパット、点字出版物の購入補助 6件
  - ・日常生活用具リサイクル助成事業費補助金 455,000円（県支出金 439,500円）
    - 不必要になった車いす、ベッド等を引き取り消毒して必要な利用者に貸与する場合、そのリサイクルに要する経費を補助する。
  - ・心身障害者タクシー料金助成事業扶助費 58,484,770円

- 630円の券を年間72枚交付 延べ 92,833件
- ・重度身体障害者移動支援事業費補助金 9,100,000円 (県支出金 800,000円)  
利用登録者 811名 運行回数 5,541回 リフトタクシー運営経費をフットワークエクスプレス(株)へ補助
  - ・身体障害者自動車燃料費助成事業扶助費  
延べ 4,407件 10,115,023円
  - ・障害者介護保険施設利用事業費 17,612,700円 { 国庫支出金 8,835,700円  
県支出金 3,642,525円 }  
老人デイサービス施設を利用して、在宅の身体障害者等に対して、通所又は訪問による各種のサービスを提供し、社会参加と心身機能の維持向上を図りました。
  - ・身体障害者ミニデイサービス事業費 5,423,400円 (県支出金 2,711,000円)  
日常生活動作・家事訓練等を行う。延べ 786件
  - ・障害者生活支援センター事業費 7,926,000円 (県支出金 5,943,000円)  
在宅の障害者に対し在宅福祉サービスの利用援助・社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援等を総合的に行う事業を青山里会に委託しました。
  - ・低所得利用者対策事業費 1,372,527円 (県支出金 1,029,000円)  
介護保険の円滑な導入のため、既にホームヘルパーを派遣していた世帯で、生計中心者が所得税の非課税世帯には介護保険自己負担分の10%のうち7%を助成 対象者43人  
〔障害者福祉センター管理運営費〕 39,406,602円 { 国庫支出金 2,607,500円  
県支出金 1,303,150円 }
  - 平成2年8月開所 運営は社会福祉協議会へ委託しました。  
〔あさけワークス管理運営費〕 49,482,436円 { 国庫支出金 17,090,400円  
その他特財 108,000円 }
  - 平成5年7月開所 一般雇用の困難な身体障害者が作業訓練等を通じて自立を目指す施設で運営は社会福祉協議会へ委託 通所者数 20人  
〔更生援護施設事務事業費〕 334,486,759円 { 国庫支出金 150,583,167円  
その他特財 28,393,820円 }

#### 施設への措置状況

施設名	前年度未入所者数	入所措置	退所措置	本年度未入所者数	措置費(円)
小山田苑	20			20	91,542,326
エビノ園	25		1	24	110,629,676
菰野聖十字の家	9			9	41,761,008
三雲カトリックの家	6			6	29,435,040
京都聴覚言語センター	1			1	2,839,560
ケアホーム熊南	2			2	8,053,584
大阪ライトハウス	1			1	4,170,345
生活援助棟入所	8	1	2	7	23,163,404
八野ワーク入所	5	1	2	4	11,273,478
八野ワーク通所	1			1	550,410
第2八野ワーク通所	2			2	3,190,082
わだちコンピュータハウス	1			1	1,571,000
小山田苑通所	1			1	1,827,378
エビノ園通所	2	1		3	4,479,468
合計	84	3	5	82	334,486,759

〔医療費等扶助費〕	94,903,288円		
・更生医療給付費	13,389,424円	(国庫支出金	8,736,240円)
レセプト件数 313件 (心臓 125件、人工透析23件、その他 165件)			
・進行性筋萎縮症者措置費	14,155,890円	(国庫支出金	7,380,760円)
国立療養所鈴鹿病院への措置 3人			
・日常生活用具給付費	22,022,069円	(県支出金	11,073,000円)
給付件数 287件 (特殊寝台17、入浴補助用具19、便器5等)			
・補装具交付・修理費	44,145,155円	(国庫支出金	22,024,643円)
交付件数 1,830件 (車いす 73、補聴器73等) 修理件数 126件			計 1,956件
・自動車改造費給付費	790,750円	(県支出金	395,000円)
1件当たり 100,000円限度 9件分			
・自動車操作訓練給付費	400,000円	(県支出金	333,000円)
運転免許取得費の助成 1件当たり 100,000円限度 4件分			
〔難病患者等居宅生活支援事業費〕	328,800円	(県支出金	168,000円)
対象者 1人			

〔成果〕

障害者が地域社会の中で自立し、安心して生活できるように在宅福祉を支援する体制の充実を図り、また家庭での自立が困難な障害者に対しては施設福祉の充実に努める等、きめ細かな施策を実施しました。

また、平成7年3月に策定した市障害者計画「障害者施策の基本的方向」について、障害者施策推進協議会での協議を踏まえ、主な施策に整備目標を設定するなど、その見直しを行いました。

さらに、4月からの介護保険の施行もあり、福祉環境も変化するなかで、今後の必要かつ有効な福祉施策の推進のため、障害者実態調査を実施しました。

目3 知的障害者福祉費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1,029,218,000円	1,001,378,757円		27,839,243円

知的障害者福祉の推進には、それぞれの障害の程度やライフサイクルに応じ生涯のあらゆる段階において、自立した生活を目指し、社会経済活動へ参加できるような支援を行うことが必要であり、次のような事業を実施しました。

〔知的障害者福祉一般事業費〕	3,097,100円		
・たんぼぼ等入所審査会経費	3,200円		
・一般経費	3,093,900円		
〔知的障害者在宅援護事業費〕	71,549,496円		
・ホームヘルプサービス事業費	3,714,850円	(国庫支出金	1,373,000円)
社会福祉協議会へ委託 派遣対象者 12人		(県支出金	686,000円)
・知的障害者デイサービス事業費	23,678,880円	(県支出金	17,759,000円)
・職親委託事業費 2企業へ3人	972,000円	(国庫支出金	486,000円)
・地域生活援助事業費	12,254,390円	(国庫支出金	5,589,000円)
グループホーム 8カ所 延べ 132人			
生活ホーム 2カ所 延べ 20人			
・重度知的障害者通所更生施設運営費補助金	30,758,656円		
サクラノ園に対する運営費助成 定員30人 通所者 延べ 240人			
・知的障害者日常生活用具給付事業費	170,720円		
交付 1件			
〔心身障害者在宅援護事業費〕	53,632,966円		
・心身障害者小規模授産事業運営費補助金	48,515,000円		

施 設 名	実 施 額	う ち 特 定 財 源
みはま作業所	8,879,000	県 支 出 金 2,880,000 そ の 他 特 財 1,572,000
富州原授産所	12,323,000	県 支 出 金 3,643,000

生活倶楽部きりん	8,100,000	県支出金 その他特財	2,880,000 925,000
尾上授産所	12,509,000	県支出金 その他特財	3,643,000 602,000
わかたけ笹川の家	6,704,000	県支出金 その他特財	2,203,000 1,416,000

・心身障害者小規模授産施設等通所費扶助金

5,117,966円

通所費の助成	本人交通費	424件	
[心身障害者通所施設管理運営費]			192,846,006円
・共栄作業所管理運営委託費			73,736,953円 (国庫支出金 31,308,290円)
社会福祉協議会へ運営委託	通所者	延べ 444人	
・たんぼぼ管理運営委託費			102,729,053円 (国庫支出金 26,936,525円)
社会福祉協議会へ運営委託	定員35人	通所者 延べ 420人	
・通所バス運行事業委託費			16,380,000円
たんぼぼへの送迎を委託			
[たんぼぼ施設整備事業費]			682,500円
[生活ホーム運営委託費]			6,181,500円 (県支出金 2,480,000円)
四日市市手をつなぐ育成会へ運営委託。松本ハウス	5人	富田ハウス	6人
[更生援護施設事務事業費]			673,389,189円 (国庫支出金 315,575,058円)
			その他特財 37,881,780円

施設への措置状況

施設名	前年度未入所者数	入所措置	退所措置	本年度未入所者数	措置費(円)
知的障害者センター	4		2	2	9,487,123
和順寮	9			9	35,951,384
成峯寮	10			10	34,432,960
長谷山学園	3			3	10,706,159
まもり苑	2			2	7,593,178
済美寮	2			2	6,317,432
長谷山寮	8			8	27,315,192
あさけ学園	11		1	10	37,213,584
聖母の家	20			20	66,503,632
彦根学園	2			2	7,583,896
かすみヶ浦 プルミンハウス	23			23	45,497,515
しらさぎ園	2	1		3	9,355,254
三重県いなば園	8			8	22,165,998
名古屋市希望荘	1			1	3,314,060
奈良県立大淀授産所	1			1	4,095,590
向陽園	1			1	3,670,556

垂坂山ブルーミングハウス	13	1		14	44,646,663
緑の丘	1			1	3,841,923
くわのみ	3			3	11,587,687
わかたけ萩の里	0	26		26	51,296,336
清和ワークキャンパス	25	4	1	28	56,728,937
バンブーハウス	10			10	20,070,900
富起園	4			4	9,962,400
和順学園	3			3	11,622,383
あさけ学園通所	9	2		11	16,810,992
清和苑	21			21	75,510,714
サクラノ園	14	6		20	37,453,360
のぞみ荘	2			2	2,316,600
合 計	212	40	4	248	673,052,408

・診療報酬支払事務委託 336,781円

〔成 果〕

在宅福祉、施設福祉等、各種施策を幅広く展開することにより障害者の自立と社会参加の促進を図りました。

目4 老人福祉費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
522,963,000円	455,583,274円		67,379,726円

平成12年4月1日より介護保険制度がスタートし、ねたきり等老人対策事業として従来実施してきた高齢者のホームヘルプサービス、デイサービス、短期入所などの事業は介護保険事業に移行しましたが、介護保険の要介護認定非該当者を対象にした事業や保険外のサービスの充実により、高齢者が要介護状態になるのを防ぎ、生きがいを持って自立した生活が送れるための支援として介護予防・生活支援事業や敬老事業を行いました。

〔老人福祉一般事業費〕	111,080,587円		
・老人ホーム入所判定委員会経費	114,090円		
開催回数6回			
・高齢者施策検討協議会経費	399,439円		
・敬老事業費	108,691,852円		
敬老金の支給(80歳以上)	56,981,437円		
敬老サービス券の交付(75歳以上)	24,780,715円		
地区敬老行事	26,749,800円		
敬老訪問	179,900円		
・一般経費	1,875,206円		
〔ねたきり等老人対策事業費〕	259,162,866円		
・生活支援老人ホームヘルプサービス事業費	1,613,830円		
延派遣人数	333人		
		〔県支出金	1,210,000円〕
		その他特財	62,200円〕

・生活支援老人デイサービス事業費	5,530,580円	(県支出金	4,148,000円)
延利用人数	310人		
・訪問給食事業費	70,464,500円	(県支出金	52,848,000円)
延利用人数	9,232人	配食数	273,500食
・家族介護支援事業費	45,845,642円	(県支出金	7,193,000円)
おむつ支給事業	45,412,582円		
延利用人数	6,724人		
徘徊高齢者家族介護支援事業	53,060円		
実利用者数	3人		
家族介護者ヘルパー受講支援事業	380,000円		
・日常生活用具給付等事業費	1,140,950円	(県支出金	634,000円)
延給付件数	802件		
・高齢者住宅改造費補助金	8,886,500円	(県支出金	4,187,000円)
本年度実績	22件		
・在宅介護支援センター事業費	118,874,188円	(県支出金	91,632,000円)
本年度末現在	21カ所		
・低所得者利用者負担対策事業費	6,806,676円	(県支出金	5,105,000円)
[ひとり暮らし老人対策事業費]	11,862,317円	(県支出金	8,799,000円)
・福祉電話貸与事業費			
緊急通報機能付き電話貸与事業	本年度末貸与台数	279台	
[生きがい対策事業費]	21,066,624円		
・老人社会参加活動育成事業費	2,106,000円		
28地区老人クラブ、四日市市老人クラブ連合会			
・老人クラブ運営費補助金	18,037,575円	(県支出金	8,970,000円)
229クラブ(21,425人)			
・老人憩いの広場整備事業費補助金	923,049円		
[老人福祉施設事務費事業費]	50,013,380円	{ 国庫支出金	20,268,282円 }
		{ その他特財	9,476,816円 }

#### 養護老人ホームへの措置状況

施設名	前年度末入所者数	入所措置	退所措置	本年度末入所者数	措置費(円)
(寿楽園)	(114)	(10)	(6)	(118)	(208,265,797)
みずほ寮	6			6	13,885,117
翠明院	12		1	11	26,463,106
高田慈光院	1			1	2,000,446
梨ノ木園	2			2	5,673,660
桑名清風園		2		2	1,991,051
小計	21	2	1	22	50,013,380
計	135	12	7	140	258,279,177

[福祉人材養成事業費] 2,397,500円  
3級ヘルパー養成講座開催経費

#### [成果]

高齢者の自立した生活の支援として訪問給食事業を充実させるとともに、介護保険の要介護認定で非該当になったが家事援助や、介護予防が必要な人のために、新たに、生活支援ホームヘルプサービスや生活支援デイサービスを実施しました。また、介護保険制度の補完的事業として、要介護認定で要介護3より重度の在宅で介護を受けているおむつの必要な人、おむつの支給事業を始めたほか、徘徊高齢者家族介護支援事業や家族介護者ヘルパー受講支援事業などを実施し在宅介護の支援に努めました。

目5 国民年金費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
50,737,000円	43,679,377円		7,057,623円

高齢社会の進展にともない、国民年金の果たす役割はライフプランの作成等、ますます大きくなっています。この国民年金制度の安定的な運営と市民の年金受給権確保のため、

- 1 年金制度の啓発活動に努めました。  
年金相談の本庁・各地区市民センターでの実施  
広報掲載（毎月）や各種パンフ配布等によるPR活動の実施
- 2 年金未加入者の加入促進に努めました。  
20歳及び35歳未満者の職権適用を含む完全適用の実施  
35歳以上者の個別勧奨の実施  
60歳以降の任意加入必要者への勧奨を実施  
国民年金3号未届者の3号届出書提出勧奨
- 3 国民年金裁定受付事務を簡素化して速やかに社会保険事務所へ報告
- 4 保険料未納者対策の強化に努めました。  
国民年金推進員7人により未納者宅へ戸別訪問を実施

〔国民年金事務費〕	43,522,859円		
・集金人等報償金	3,537,380円	（国庫支出金	3,537,380円）
・一般経費	39,985,479円	（国庫支出金	39,985,479円）
うち賃金（一般事務臨時職員2人、年金推進員臨時職員7人）	14,789,604円		
〔年金取扱地区交付金〕	82,518円	（国庫支出金	82,518円）
〔負担金〕	74,000円	（国庫支出金	74,000円）
・三重県国民年金協議会等			

〔成 果〕

適用率	96.8%（前年度 97.0%）
適用被保険者	43,707人/ 推定被保険者 45,142人
検認率	74.2%（前年度 75.8%）
年金給付額	老齢基礎年金 804,200円（加入可能年数の全額納付者） 老齢福祉年金 412,000円
年金保険料	月額 13,300円（前年度 13,300円）

国民年金の適用状況

区 分	第1号被保険者	任意加入被保険者	第3号被保険者	合 計
年度末現在の被保険者数（人）	43,707	476	30,428	74,611

国民年金の給付状況

ア 抛出年金

区 分	老 齢 年 金	通算老齢年金	5 年 年 金	老 齢 基 礎 年 金	障 害 年 金
受給者数（人）	6,552	3,949	399	25,581	213
年金額（円）	3,174,693,400	841,539,100	165,904,200	17,525,292,100	186,980,400

区 分	障害基礎年金	母子（準母子）年金	遺児年金	寡 婦 年 金	遺族基礎年金
受給者数（人）	992	3	0	105	630
年金額（円）	871,933,200	2,875,400	0	53,890,800	492,274,800

イ 福祉年金

区 分	老齢福祉年金	障害基礎年金
受給者数(人)	321	1,773
年金額(円)	132,252,000	1,627,836,200

(注) 障害基礎年金は、旧法による障害福祉年金及び無拠出分

目6 社会福祉施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
172,278,000円	147,971,746円	22,221,000円	2,085,254円

地方改善事業は、同和地区の生活環境の改善を図るものでありますが、従来の指定地区内のみならず、周辺地域との整合性、一体性を図りつつ効果的な予算の執行に努めました。

また、小牧市民会館・神前市民会館において、各種教養講座をはじめ、相談事業、地区児童を対象とした学習会、同和問題講習会などの隣保事業を実施し、地域住民の社会的・経済的・文化的生活の向上を図りました。

なお、翌年度繰越額については、介護予防拠点整備事業に係るものです。

[嘱託職給] 6人	16,830,411円	(県支出金 16,830,000円)
[隣保館管理運営費]	4,696,852円	
・青少年等福祉対策事業費	138,210円	(県支出金 92,000円)
・一般経費	4,558,642円	{ 県支出金 4,405,000円 その他特財 145,356円 }
[隣保館整備事業費]	1,323,000円	(国庫支出金 1,292,000円)
介護予防拠点整備事業 マッサージチェア 6台		
[その他同和施設管理運営費]	17,535,720円	(その他特財11,499,132円)
[地方改善施設整備事業費]	107,359,763円	

事業区分(施工箇所)	事業内容	事業費	うち特定財源	
宅内配管等工事費補助事業費(小牧町西)	小牧コミュニティ・プラント整備事業に係る宅内配管工事費補助 6件	3,000,000	県支出金	1,500,000
小牧町西第二公会所施設整備事業費	実施設計 障害者用スロープ L=2.7m W=1.2m 多目的トイレ・女子トイレ増築 A=7.2 m <sup>2</sup>	7,423,500	県支出金 市 債	2,854,000 4,300,000
舗装復旧事業費(小牧町)	小牧コミュニティ・プラント整備事業に係る舗装復旧工事 L= 820m W=5.0m	23,795,100		
排水路改良事業費(小牧町)	施工延長L=76.9m舗装工A=51m <sup>2</sup> 排水工(W=0.45m~0.50m) L=75.3m	4,620,000		
道路舗装復旧事業費(天白町)	施工延長 L=80.5m 舗装工 A=413.9m <sup>2</sup>	1,680,000		
用地取得事業費・赤堀公園	用地費 A=193.76m <sup>2</sup>	19,999,999		
大型共同作業場整備事業(寺方町二区)	建築・設備修繕等	26,199,232	その他特財	13,700,868

その他整備事業費	道路改修・環境改善・排水路改修等	20,641,932	
----------	------------------	------------	--

〔負担金〕 226,000円

・三重県隣保館連絡協議会

〔成果〕

小牧町西第二公会所において、出入口のスロープ等の設置や、多目的トイレ・女子トイレの増築を行い、高齢者や身障者等が利用しやすいように施設のバリアフリー化を図りました。

また、赤堀公園用地買戻事業については、本年度をもって完了しました。

## 目7 老人福祉施設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
133,098,000円	128,282,384円		4,815,616円

老人福祉法に基づく養護老人ホームである寿楽園の入所者がうるおいとやすらかな生活ができるような処遇に努めました。具体的には入所者が主体的に生活を楽しみ充実したものとなるようクラブ活動及びグループ活動の実施、気分転換と生きがいをもたらすよう桜まつり、納涼大会、敬老祝賀会、忘年会、ピクニックやバス旅行等の行事を行いました。また、地域で生活されている方の介護予防及び生活支援を目的としたショートステイ事業や、地域の方々とのふれあい交流の機会を深め、真に地域にとけ込んだ養護老人ホームを目指しました。

〔非常勤職員報酬〕 1,969,200円

・嘱託医師 1人

〔寿楽園管理運営費〕 57,373,522円

〔国庫支出金 29,567,143円  
県支出金 1,521,000円  
その他特財 17,975,371円〕

〔寿楽園給食業務外部委託事業費〕 59,721,712円

〔寿楽園施設整備事業費〕 9,028,950円

・居室棟外壁改修

〔負担金〕 189,000円

・三重県老人福祉施設協会等

入所者の状況

ショートステイ利用状況

性別	前年度未入所者数	入所措置	退所措置	本年度未入所者数
男	36	3	2	37
女	80	7	4	83
計	116	10	6	120

年度	延人数	延日数
10	37	293
11	65	588
12	42	521

〔成果〕

施設の良い維持と美観を保つため、入所者の生活する居室棟（鉄筋コンクリート造2階建）の外壁改修工事を行いました。また防災時の安全対策として、夜間の職員配置を、従来の正規職員2人に加え宿直専任の臨時職員1人を増員し、3人体制としました。

## 目8 老人福祉センター費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
96,471,000円	90,192,120円		6,278,880円

中央・西老人福祉センターは高齢者の憩いの場として広く利用され、各種講座の開催、温泉利用の入浴、健康相談等の充実に努めました。

[明許繰越]

[老人福祉センター整備事業費] 28,036,843円

事業区分(施工箇所)	事業内容	事業費	うち特定財源	
西老人福祉センター	浴室の増築及び脱衣所・洗い場 改修 外	28,036,843	国庫支出金	28,036,843

[老人福祉センター管理運営費] 58,170,527円 (国庫支出金 740,000円  
その他特財 35,583円)

中央老人福祉センターの利用状況

性別	団体利用者数(団体数)	個人利用者数	市外利用者数	計
男	3,613	30,679	411	34,673
女	6,294	16,867	0	23,161
計	9,907 (343)	47,546	411	57,834

西老人福祉センターの利用状況

性別	団体利用者数(団体数)	個人利用者数	市外利用者数	計
男	283	23,886	681	27,738
女	1,535	16,290	274	19,507
計	1,818 (111)	40,176	955	47,245

[老人福祉センター整備事業費] 3,984,750円

事業区分(施工箇所)	事業内容	事業費	うち特定財源	
西老人福祉センター	事務所壁修繕、サッシ取替 外	3,984,750	国庫支出金	1,157

[成果]

本年度は西老人福祉センターの浴室の増築及び脱衣所・洗い場の改修工事等を行い、利用者の更なる利便を図りました。

目9 勤労身体障害者体育施設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,427,000円	2,079,066円		347,934円

三重勤労身体障害者体育センターは、障害者がスポーツ(車いすテニス、アーチェリー、卓球等)を通じて、機能の維持回復、健康の増進を図るとともに、相互の交流を深めるための施設として、その利用促進に努めました。

[勤労身体障害者体育施設管理運営費] 2,079,066円 (その他特財 68,885円)  
施設の利用状況

開館日数	利用日数	利用者数		
		障害者	一般	計
291	249	2,308	2,122	4,430

項2 児童福祉費  
目1 児童福祉総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,719,217,000円	3,708,108,979円		11,108,021円

少子化の進展や共働き家庭の増加など、子どもを取り巻く環境が大きく変化するなか、多様化する保育需要に応えるため、低年齢児保育、延長保育及び一時保育など、保育サービスの充実に努めると共に国の少子化対策臨時特例交付金を活用し、病気回復期の児童を一時的に預かる四日市市病児保育室の開設や、民間保育所の保育室の増築、子育て支援情報誌の発行などを行いました。

〔一般職給〕	387人	2,908,650,532円	〔国庫支出金 322,269,896円〕 〔県支出金 449,345,662円〕 〔その他特財 481,243,551円〕
〔嘱託職給〕	28人	98,431,830円	
〔児童福祉一般事業費〕		435,597,889円	〔県支出金 3,090,000円〕 〔その他特財 363,000円〕
・乳幼児健康支援一時預かり事業費		6,309,013円	

四日市市病児保育室利用実績（平成12年8月開設）

開設日数	登録者数	延利用者数
168日	305人	221人

・家庭児童相談経費	1,306,000円	
・児童虐待防止対策事業費	1,292,799円	（県支出金 860,000円）
児童虐待の未然防止を図るために平成12年5月に関係諸機関等で構成する「四日市市子どもの虐待防止ネットワーク会議」を発足させ、対策の検討や市民啓発を行いました。 （委員会議 4回、推進会議 7回、講演会 2回、虐待対応マニュアル作成）		
・児童手当等給付事業費	3,392,661円	（国庫支出金 3,392,661円）
・母子家庭児童生徒激励費補助金	867,000円	
・一般経費	422,430,416円	〔県支出金 5,471,990円〕 〔その他特財 1,054,799円〕
〔児童育成基盤整備等推進事業費〕	2,066,845円	（その他特財 1,822,894円）
平成8年3月に策定された四日市市エンゼルプランの計画期間が本年度末までとなっていたため、新たに平成13年度を初年度とするエンゼルプランを策定のために市民意識調査を行いました。		
〔母子福祉センター管理運営費〕	6,531,453円	
〔おもちゃ図書館管理運営費〕	1,721,066円	
・年間延べ利用者	7,540人	
〔心身障害児訓練事業費〕	924,444円	（その他特財 924,444円）
障害児・保護者訓練指導事業		

	言語	理学	計
登録者数	187	85	272
延訓練実施者数	1,342	721	2,063

〔心身障害児福祉事業費〕	40,180,466円	
・日常生活用具給付費	交付24件 1,658,995円	（県支出金 829,000円）
・補装具交付・修理費扶助費	26,217,471円	（国庫支出金 13,182,609円）
（補装具交付 221件、修理 36件）		
・重症心身障害児手当	258人 12,304,000円	
〔民間保育所振興費〕	158,523,549円	
・私立保育所運営費等補助金	39,998,695円	（県支出金 2,221,000円）
・民間保育所乳児保育等事業費補助金	32,009,600円	（県支出金 21,339,000円）
・民間保育所延長保育事業費補助金	48,059,954円	（県支出金 32,015,000円）

延長保育事業利用実績（平均利用者数）

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
海山道			2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	27
塩浜	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1		15
愛華	4	5	5	8	6	6	6	7	7	7	7	7	75
三重愛育							4	4	4	4	5	7	28
みのり	7	7	6	6	5	5	5	7	9	7	5	4	73
フジ	14	14	15	14	14	16	16	16	16	15	16	17	183
いずみ	5	6	6	7	5	6	5	5	4	7	8	8	72
あがたが丘	2	2	2	2	2	3	5	5	6	3	5	4	41
ひよこ	25	24	23	24	17	20	21	23	21	22	27	25	272
合計	59	60	60	64	53	61	66	71	71	69	77	75	786

・民間保育所一時保育事業費補助金 9,500,000円（県支出金 6,333,000円）  
一時保育事業利用実績（延べ利用者数）

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
橋北	54	78	106	93	70	61	116	112	97	65	86	123	1061
愛華	60	52	84	64	58	117	120	125	104	86	88	69	1027
いずみ	159	94	120	86	43	104	118	80	86	75	195	130	1290
ひよこ	95	92	106	97	95	99	119	109	129	129	166	193	1429
合計	368	316	416	340	266	381	473	426	416	355	535	515	4807

- ・私立保育所地域活動事業費補助金 4,287,300円（県支出金 2,858,000円）
- ・民間保育所地域子育て支援センター事業費補助金 8,896,000円（県支出金 5,930,000円）
- ・民間施設整備費補助金 8,772,000円
- ・子育て支援推進保育事業費補助金 2,000,000円（県支出金 1,000,000円）
- ・私立保育所施設改善資金貸付金 5,000,000円

〔少子化対策事業振興基金積立金〕 620,560円（その他特財 620,560円）

- ・少子化対策基金  
（平成11年9月設置 本年度末現在高 6,520,560円）

〔少子化対策関連啓発等事業費〕 4,460,345円（その他特財 4,436,087円）

少子化対策臨時特例交付金を利用して、少子化問題の啓発事業を実施しました。

少子化問題講演会

松本恵氏（元NHKアナウンサー）を招き、「ハッピーチャイルドに育てたい」と題して講演会を開催しました。

子育て支援情報誌発行

子育て支援情報誌「よっかいち子育てエンジョイブック」を、公募により市民活動団体「サークルすくすくポン」に委託して制作しました。

幼保実践交流会

岩崎由紀子氏（敦賀聖マタイ福祉会 晴明保育園長）を講師に招き、「地域に広げる子育て家庭支援」と題して講演会を開催。また、四日市市の子育て支援のあり方について話し合うため、関係する機関の代表者が集まり、「子育て支援連絡会議」を実施しました。

[少子化対策振興補助金] 50,400,000円 (その他特財 50,400,000円)

少子化対策臨時特例交付金を利用して、民間保育園の園舎の増築や啓発事業に対する補助を行いました。

[成 果]

各種相談事業や民間保育所の保育内容充実のための各種支援を通じて、児童の望ましい心身の成長発達や地域の福祉の向上を図りました。

平成11年度から13年度までの3か年事業の少子化対策臨時特例交付金事業については、少子化問題の講演会や情報誌の発行などの啓発事業の実施、民間保育園の保育室の増築に対する助成を行いました。また、同じく交付金を活用して整備した、「四日市市病児保育室」において、8月から病児保育（乳幼児健康支援一時預かり事業）を開始し、保護者の子育てと就労の両立支援を図りました。

急増する児童虐待の未然防止のために「四日市市子どもの虐待防止ネットワーク会議」を設置し、会議の開催や、虐待対応マニュアルの作成など関係機関の連携体制を整備しました。

希望の家については、他の児童福祉施設の視察を行うなど民営化の調査、検討を行いました。

目2 児童措置費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
2,188,899,000円	2,178,509,193円		10,389,807円

保育に欠ける児童の保育園への入園や保護を要する母子に対する入所措置をとるとともに、国県負担金を受けて入所に要する費用を当該施設に支出しました。

子育て支援ショートステイ事業については、菜の花苑での利用実績はありませんでした。

[母子生活支援施設事務費事業費] 46,929,036円  
 菜の花苑 外 8施設 279世帯利用

}	国庫支出金	23,897,817円
	県支出金	11,948,908円
	その他特財	217,590円

[保育所事務費事業費] 1,439,240,157円

事 業 区 分	実 施 額	う ち 特 定 財 源		備 考
児 童 一 般 分	1,342,693,610	国庫支出金 355,246,935 県支出金 177,623,467 その他特財 404,804,453		民間 延べ 21,545人 (市外公立 59人含む)
民 間 施 設 加 算	96,546,547	県支出金	8,173,000	

[児童手当] 692,340,000円

国の制度改正があり、6月から、支給対象児童の年齢が3歳未満から6歳就学前までに拡大されました。

区 分		平成12年度末現在		平成12年度 支 給 額	う ち 特 定 財 源	
		受 給 者 数	対 象 児 童 数			
児童手当	被 用 者	941	1,064	72,585,000	国庫支出金 65,326,500 県支出金 3,629,250	
	非被用者	1,202	1,339	84,810,000	国庫支出金 56,540,000 県支出金 14,135,000	
特例給付		3,643	4,039	254,725,000	国庫支出金 254,725,000	

就学前 特例給付	被用者	2,402	4,365	219,745,000	国庫支出金 県支出金	146,496,666 36,624,166
	非被用者	674	1,194	60,475,000	国庫支出金 県支出金	40,316,666 10,079,166

〔成 果〕

保育に欠ける児童の保育所入所や、保護を要する母子の母子生活支援施設入所等により、児童の心身の健全な発達や母子の自立を図りました。

目 3 保育所費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
574,104,000円	551,987,106円		22,116,894円

家庭において保護者の十分な保育を受けられない乳幼児について、家庭にかわる良い環境を与え、その保護育成に努めました。また、少子化対策臨時特例交付金により四日市市病児保育室の整備を行いました。

〔非常勤職員報酬〕		16,407,930円	
・嘱託医師	30人	8,512,250円	
・嘱託歯科医師	30人	7,895,680円	
〔保育所管理運営費〕		398,494,392円	
			〔国庫支出金 95,863,840円 県支出金 61,658,653円 その他特財 171,347,550円〕

整備事業

事 業 内 容	実 施 額	備 考
桜台保育園園舎改修工事	11,617,200	
羽津保育園園舎改修工事	5,460,000	
保育園公共下水道接続工事	4,357,500	日永中央、羽津
各園補修等工事	14,463,865	
合 計	35,898,565	

〔幼稚園・保育園問題調査研究費〕 183,940円  
教育委員会と連携して幼保の一体化、共用化の実施に向けて、先進地の調査や職員の研修を行いました。

〔保育所地域交流事業費〕 9,280,486円 (県支出金 6,186,000円)  
子育て支援センター事業を実施している橋北、大矢知、笹川保育園を中心に、その他の保育園においても「あそぼう会」や「老人との交流事業」などの事業を実施しました。

〔保育所建設事業費〕 1,165,500円

・内部保育園園舎リース料  
(平成12～20年度債務負担事業)

〔乳幼児健康支援一時預かり施設整備事業費〕 37,632,653円

事 業 区 分	事 業 内 容	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
乳幼児健康支援一時預かり施設整備事業	鉄骨造2階建 延床面積 225.6m <sup>2</sup> (平成11・12年度債務負担事業) 初度備品外	37,632,653	その他特財	31,641,350

〔保育所用用地取得事業費〕 87,291,000円  
高花平保育園、ときわ保育園(公社依頼事業買戻)

〔負担金〕

1,531,205円 (その他特財 1,191,756円)

・日本体育学校健康センター共済掛金等

保育園入所状況

〔公立保育園〕

保育園名	定員	延入所 児童数	延入所児童の年齢別内訳			月平均 入所児童数	児童入所率 (%)
			3歳児未満	3歳児	4歳児以上		
橋北	120	1,562	354	517	691	130	108.33
富洲原	130	1,660	526	294	840	138	106.15
港	45	409	162	34	213	34	75.56
塩浜西	70	808	125	168	515	67	95.71
四郷	120	1,512	258	352	902	126	105.00
羽津	120	1,413	302	291	820	118	98.33
あがた	90	1,243	178	237	828	104	115.56
大矢知	110	1,524	381	412	731	127	115.45
河原田	100	1,102	149	244	709	92	92.00
中央	120	1,529	506	315	708	127	105.83
ときわ	170	2,194	559	387	1,248	183	107.65
水沢	60	800	121	210	469	67	111.67
富田	60	776	235	164	377	65	108.33
高花平	100	1,218	254	254	710	102	102.00
海蔵	80	939	211	288	440	78	97.50
下野	60	678	143	166	369	57	95.00
内部	140	1,765	327	405	1,033	147	105.00
磯津	40	416	33	33	350	35	87.50
坂部	60	807	133	204	470	67	111.67
保々	100	1,291	383	343	565	108	108.00
笹川	120	1,254	196	328	730	105	87.50
西浦	60	687	687	0	0	57	95.00
三重	60	789	199	203	387	66	110.00
東橋北	40	326	129	72	125	27	67.50
神前	70	928	231	186	511	77	110.00
日永中央	110	1,500	363	329	808	125	113.64

笹川西	120	1,550	572	301	677	129	107.50
桜台	120	1,244	202	248	794	104	86.67
下野中央	45	652	152	224	276	54	120.00
八郷西	50	661	133	89	439	55	110.00
市内公立計	2,690	33,237	8,204	7,298	17,735	2,770	102.97
城東		6	6	0	0		
千草		3	3	0	0		
南		7	7	0	0		
本山北町		12	0	12	0		
北		12	0	12	0		
山崎		19	19	0	0		
市外公立計		59	35	24	0		

〔民間保育園〕

保育園名	定員	延入所 児童数	延入所児童の年齢別内訳			月平均 入所児童数	児童入所率
			3歳児未満	3歳児	4歳児以上		
日永	90	1,289	262	328	699	107	118.89%
厚生会	60	819	313	150	356	68	113.33
浜田	90	1,164	380	211	573	97	107.78
ローズ	100	1,436	430	292	714	120	120.00
海山道	120	1,676	479	504	693	140	116.67
塩浜	60	515	158	120	237	43	71.67
愛華	90	1,294	416	296	582	108	120.00
三重愛育	150	1,860	448	478	934	155	103.33
あやめ	60	730	82	181	467	61	101.67
みのり	90	1,056	517	221	318	88	97.78
かわしま	120	1,397	378	193	826	116	96.67
大谷台	90	1,315	310	318	687	110	122.22
フジ	90	1,212	452	261	499	101	112.22
いずみ	90	1,312	412	372	528	109	121.11

あがたが丘	90	935	278	260	397	78	86.67
ひよこ	90	1,249	554	228	467	104	115.56
陽光台	60	848	223	253	372	71	118.33
市内民間計	1,540	20,107	6,092	4,666	9,349	1,676	108.83
久間田		332	80	99	153		
岸田		880	106	209	565		
トーマスポーヤ		15	11	0	4		
津カリック		4	4	0	0		
聖マリア		3	0	3	0		
くすのき		7	7	0	0		
あおい		7	7	0	0		
石薬師		13	10	0	3		
津愛児		12	12	0	0		
高岡法輪		20	20	0	0		
第2 石薬師		28	24	4	0		
光陽桑部		32	21	11	0		
七和		26	19	7	0		
市外民間計		1,379	321	333	725		
総合計		54,782	14,652	12,321	27,809		

〔成 果〕

公立保育園の施設改修や少子化対策臨時特例交付金による四日市市病児保育室の整備等により、保育環境の向上を図りました。

目4 養護施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
41,911,000円	38,327,348円		3,583,652円

希望の家養護部は保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する満2歳から18歳までの入所児童の養護に努めました。

〔非常勤職員報酬〕 889,200円

・嘱託医師 1人

〔希望の家管理運営費〕

37,415,848円

{ 県支出金 27,387,176円  
その他特財 2,210,619円 }

〔負担金〕

22,300円

・三重県児童福祉施設協議会

[成 果]

家庭にかわる良い環境を与えることにより、児童の健全な育成を図りました。

養護児童の入所状況

性別	前年度末 入所者数	本年度 入所者数	本年度 退所者数	本年度末 入所者数	就 学 状 況				
					小学生	中学生	高校生	幼 児	その他
男	22	7	12	17	4	3	0	10	0
女	22	7	8	21	10	4	0	7	0
計	44	14	20	38	14	7	0	17	0

子育て支援ショートステイ事業利用状況

利 用 者 数	利 用 日 数
15人	83日

目5 乳児院費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
14,469,000円	13,084,636円		1,384,364円

希望の家乳児部は、保護者の健全な養育を受けられない入所乳幼児の養育に努めました。

[非常勤職員報酬] 1,395,600円

・嘱託医師 1人

[乳児院管理運営費] 11,689,036円 { 県支出金 7,613,060円  
その他特財 1,612,401円 }

[成 果]

家庭にかわる良い環境を与えることにより、児童の健全な育成を図りました。

養育乳幼児の入所状況

性別	前年度末 入所者数	本年度 入所者数	本年度 退所者数	本年度末 入所者数	年 齢 別 内 訳		
					0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児
男	3	5	3	5	1	4	0
女	7	8	8	7	3	3	1
計	10	13	11	12	4	7	1

子育て支援ショートステイ事業利用状況

利 用 者 数	利 用 日 数
2人	4日

目6 児童館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,220,000円	11,300,441円		919,559円

児童館は児童の健全育成の場として「あそび」を通じた児童の自主的、創造的活動の援助、指導、社会性を養うためのグループ活動の企画推進、リーダーの養成を図るとともに、人形劇・映画会の開催、図書整備など優良児童文化の提供に努めました。また、母親クラブをはじめとする地域住民のボランティア活動の促進に努めました。

- 〔児童館管理運営費〕 6,347,308円
  - ・児童健全育成事業費 612,013円
  - ・母親クラブ補助金 423,000円 (県支出金 282,000円)
  - ・一般経費 5,312,295円 (その他特財 2,060円)
- 〔児童健全育成活動情報化緊急推進事業費〕 4,533,133円 (国庫支出金 3,379,000円)
- 国の補正予算で創設された「児童健全育成活動情報化緊急推進事業(児童厚生施設整備費補助金)」により児童館にパソコンを設置し児童館の充実を図りました。
- 〔負担金〕 420,000円
  - ・全国児童館連合会等

〔成果〕

保護者をはじめ、地域の大人の協力を得ながら児童に健全な遊びを提供し、児童の健全育成を図りました。また、児童館のない地域に出向き移動児童館事業を実施し、児童館の周知と事業の充実を図りました。

児童館の利用状況

区分	開館日数	延利用者数	1日平均利用者数
北部児童館	256	18,982	74
橋北児童館	256	10,419	41
塩浜児童館	256	10,868	42
こどもの家	256	15,954	62
計	—————	56,223	—————

移動児童館事業

実施回数	実施地区数	延利用者数	1日平均利用者数
12	10	1,452	121

目7 知的障害児通園施設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,120,000円	18,113,441円		4,006,559円

あけぼの学園は、通園部と療育部からなる母子通園施設です。通園部(知的障害児通園施設)は、就学前の心身障害児が母子共に通園して、保育園・幼稚園の前段階の療育を受ける場であり、基本的な生活の自立を助長促進し、社会適応性を養うとともに、母親に対する指導・援助に努めました。

- 〔非常勤職員報酬〕 451,200円
  - ・嘱託医師 2人

〔あけぼの学園（通園部）管理運営費〕 17,662,241円 〔県支出金 7,788,010円〕  
 〔その他特財 2,850,829円〕

〔成 果〕

保育療育体制の充実により、障害をもつ児童の望ましい発達促進を図りました。

入園状況

性 別	年度末 在園児数	年 齢 別 内 訳				
		1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
男	32	2	9	15	5	1
女	15	3	4	4	4	0
計	47	5	13	19	9	1

目8 児童福祉施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
6,759,000円	5,256,106円		1,502,894円

あけぼの学園の療育部は、上・下肢等に機能障害を有し、種々の合併症をもった幼児が保護者とともに通園する施設として、療育指導を行い、機能回復訓練を中心として、保護者の学習（機能回復訓練法）と共に、幼児に対する療育訓練に努めました。

〔非常勤職員報酬〕

・嘱託医師 1人 225,600円  
 〔あけぼの学園（療育部）管理運営費〕 5,030,506円 〔県支出金 1,813,000円〕  
 〔その他特財 2,042,331円〕

〔成 果〕

保育療育体制の充実により、障害をもつ児童の望ましい発達促進を図りました。

入園状況

性 別	年度末 在園児数	年 齢 別 内 訳					
		0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
男	27	0	3	11	9	3	1
女	13	0	3	6	2	2	0
計	40	0	6	17	11	5	1

項3 生活保護費

目1 生活保護総務費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
133,882,000円	131,508,470円		2,373,530円

〔非常勤職員報酬〕	1,702,800円		
・嘱託医師 1人			
〔一般職給〕 17人	122,871,582円		
〔生活保護一般事業費〕	6,934,088円		
・生活保護適正実施推進事業費	3,159,870円	(国庫支出金 3,159,000円)	
・一般経費	3,774,218円		

## 目2 扶助費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,248,964,000円	3,236,814,722円		12,149,278円

生活保護法に基づき、生活を維持することが困難な者に対して、生活・住宅・教育・医療・介護・葬祭等の各扶助を行いました。

本年度における生活保護の状況は、開始件数 300件、廃止件数 182件で、保護率は、6.0 ‰（前年度 5.4 ‰）となり、被保護者は増加しました。増加した主な要因は、経済不況や雇用環境の悪化により、求人数が減少していることや、高齢者単身世帯の増加が考えられます。

保護開始のうち、世帯主の傷病に起因するものが40.3%を占める一方、保護廃止では、死亡・失踪が35.7%、世帯主の傷病治癒によるものが14.3%、就労収入の増が13.8%でした。

被保護世帯の類型では、高齢者世帯46.8%、傷病者世帯23.7%、障害者世帯14.0%、母子世帯10.0%、その他世帯 5.5%となっています。また、保護世帯の中で、単身者の占める割合が72.9%であり、そのうち高齢単身は、57.2%を占めています。

〔扶助費〕 3,236,814,722円

### 生活保護費の状況

区分	平成 1 2 年度		うち特定財源	対前年度比 (%)	平成 1 1 年度	
	延人数	支出額 (円)			延人数	支出額 (円)
生活扶助	18,345	975,950,894	国庫支出金	114.6	16,311	851,776,078
住宅扶助	14,681	224,866,702	2,426,268,594	117.1	12,841	191,987,998
教育扶助	2,055	13,725,322	県支出金	109.1	1,876	12,583,853
介護扶助	1,561	20,630,857	184,543,766	皆増		
医療扶助	17,446	1,934,930,832	その他特財	98.6	15,519	1,962,814,880
出産扶助	3	942,250	22,316,663	506.9	1	185,895
生業扶助	17	582,750		166.6	17	349,730
葬祭扶助	25	2,965,698		92.1	26	3,220,500
小 計	54,133	3,174,595,305		105.0	46,591	3,022,918,934
施設事務費	466	62,219,417		100.7	482	61,757,154
合 計	54,599	3,236,814,722	2,633,129,023	104.9	47,073	3,084,676,088

## 項4 災害救助費

### 目1 災害救助費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,435,000円	2,412,283円		22,717円

9月11日に発生した集中豪雨の被災者に災害見舞金等を給付しました。

〔災害見舞金〕 1,670,000円 (その他特財 863,000円)  
 158件(死亡1件100,000円、床上浸水157件1,570,000円)  
 〔災害救助基金積立金〕 644,738円  
 (昭和39年3月設置 本年度末現在高 119,780,299円)  
 〔災害救助経費〕 97,545円

目2 災害救助基金積立準備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0円	0円		0円

充用状況

充用科目	充用内容	充用額
(項) 災害救助費 (目) 災害救助費	災害見舞金	707,000円

項5 国民健康保険費  
 目1 国民健康保険費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,117,098,000円	1,117,098,000円		0円

国民健康保険費は、国保特別会計に対し保険基盤安定制度、財政安定化支援事業、事務費及び出産育児一時金補助金の一般財源化に基づく繰出金 919,828,566円を含む 1,117,098,000円を繰出し、その運営費に充てました。

- ・ 保険基盤安定繰出金 503,681,400円 (国庫支出金 251,840,700円)  
 ( 県支出金 125,920,350円)
- ・ 職員給与費等繰出金 280,564,166円
- ・ 出産育児一時金繰出金 105,000,000円
- ・ 財政安定化支援繰出金 30,583,000円
- ・ その他一般会計繰出金 197,269,434円

項6 介護保険費  
 目1 介護保険費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,200,248,000円	1,200,248,000円		0円

介護保険給付費及び事務費について、介護保険特別会計へ繰出しを行いました。